

第2学年英語科学習指導案

日時 平成29年10月5日(木) 6校時
生徒 2年A・B組(17名)
場所 視聴覚・英語教室
授業者 水野 晃子

1 単元名 Program 9 A Video Project

2 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・比較表現(比較級・最上級・同等比較)を用いて、ものの特徴や程度について説明したり、問答したりしようとする。
- ・学校生活について紹介する文を作り、発表しようとする。

【表現の能力】

- ・比較表現を用いて、ものの特徴や程度について説明したり問答することができる。
- ・学校生活について紹介する文を作ることができる。

【理解の能力】

- ・友達のスピーチや紹介文を聞いて、その内容を理解することができる。
- ・学校生活について紹介している本文の内容を理解する。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・比較表現の用法、形式、意味を理解することができる。
- ・日本で独自に発展したスポーツについて理解することができる。

3 単元と生徒について

(1) 教材について

本単元では、武志のクラスで、交換留学生サムの中学校へ送る学校紹介ビデオを作成するという場面が取り上げられている。学校行事や部活動の紹介をしながら、日本ならではのスポーツや文化の特長を発信する活動を通し、英語による紹介文の書き方やスピーチの仕方を学習できる題材となっている。

本単元で扱われる新出の言語材料は、形容詞の比較表現である。教科書本文中では、紹介したいものなどの良さ、特長を表す表現として取り扱われており、生徒が対話やスピーチの中で、自分たちの好きなものの良さについて問答したり、紹介する際に活用できる。

(2) 生徒について

自分の意見を物怖じせず発言できる生徒は数人いるが、大部分は大人しく控えめである。仲の良い友人といった特定の相手とのコミュニケーションを楽しむことはできるが、コミュニケーションの相手が限られてしまう生徒が多いため、学習グループの構成について工夫が必要である。

言語の学習においては『解らないことに挑み続ける』ことが肝要であるが、諦めてしまったり、努力を継続できなかつたりする生徒が多い。その理由として、英語の必要感をあまりもっていないことが考えられる。

(3) 指導構想

授業者自身の好きなものとその理由を比較表現を用いて提示することで、生徒に本時で学習する表現をつかませたい。また、スキットやスピーチの中で、自分の好きなものを、理由を添えて紹介する手段として有効な表現であることに気付かせ、繰り返し使用させながら定着を目指したい。

基本文型等の学習事項が、単に評価問題を読み解くためのものではなく、コミュニケーションの手段として使えることを体験的に指導していきたいと考え、自己表現活動を1年時から継続して行ってきた。本単元においても、自己表現活動を通して、基本文型等の『形』『意味』『使用場面』を意識させることを目的として指導していきたい。また、他者の考えを聞き、互いに理解することで、多様な考えがあることに気付かせ、認め合える関係づくりを進めたい。

4 単元の指導計画（全6時間、本時2時間目）

時間	「学習課題」 ・ 主な学習内容
1	「好きなものの理由を工夫して伝えよう①」 ・ 形容詞の比較級(-er)の意味や文構造を理解し、運用する。 ・ 自分の好みのものを、その理由を合わせて相手に伝える。
2	「好きなものの理由を工夫して伝えよう②」（本時） ・ 形容詞の最上級(-est)の意味や文構造を理解し、運用する。 ・ 自分の好みのものを、その理由を合わせて相手に伝える。
3	「家族や友達を有名人を引き合いにして、気持ち良く紹介しよう」 ・ 同等級の意味や文構造を理解し、運用する。 ・ 身近な人を有名人を引き合いにして、紹介する。
4	「武史のスピーチの仕組みを理解し、内容が伝わるように音読しよう」 ・ 学校紹介ビデオに関する会話とソフトテニスに関する説明の内容を理解する。 ・ 教科書本文の音読をする。
5	「桃子のスピーチの仕組みを理解し、内容が伝わるように音読しよう」 ・ 合唱コンクールに関する説明の内容を理解する。 ・ 教科書本文の音読をする。 ・ 学校行事や部活動の中から、紹介する対象を決定する。
6	「学校生活を紹介しよう」 ・ 自分で選んだ学校行事や部活動を英文で紹介する。

5 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・ 比較表現を用いて、自分の考えや好きなものを相手に伝えたり、相手の目を見ながら対話しようとしている。 ・ 学校生活について、比較表現を用いて紹介する文を作り、発表しようとする。	・ 比較表現を用いて、自分の考えや好きなものを、理由を添えて英語で対話することができる。 ・ 学校生活について、比較表現を用いて紹介する文を作ることができる。	・ 相手の発表を聞いて、その内容を大まかに言うことができる。 ・ 本文の内容について説明でき、日本語の質問に答えることができる。	・ 比較表現を正しく発音して、書くことができる。 ・ 日本で独自に発展したスポーツがあることを理解することができる。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

形容詞の比較表現（最上級）を含む英文の意味や構造を理解し、自分の好きなものを理由とともに伝えることができる。

(2) 本時に係わる評価規準（評価方法）

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

形容詞の比較表現（最上級）を用いて、自分の好きなものを理由とともに発表したり、対話したりすることができる。（観察・発言・自己評価シート）

【表現の能力】

形容詞の比較表現（最上級）を用いて、自分の好きなものを理由とともに表現することができる。（発表・プリント）

(3) 本時の展開

階 段	生徒の学習活動 Q：教師の発問 A：(予想される) 生徒の発言，反応	・教師の指導上の留意点 【評価の観点】（評価方法）
導 入 10 分	<p>1 Small Chat に取り組む。</p> <p>2 Teacher's Talk を聞いて内容を理解し、本時の学習課題を設定する。</p> <p>Q：Do you have any pets? What animal do you have? A：Dogs. Cats. Rabbits. Fish... Q：OK. I see. Now listen to my story.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>I don't have a pet now. But someday, I want a dog. I like dogs because they are smart. Dogs are smarter than cats. Dogs are smarter than hamsters. I think dogs are the smartest of all pet animals. So I like dogs.</p> </div> <p>Q：What is the topic? 話題は何？ A：Pets. Q：Well done. What animals did you hear? A：Dogs, cats, and hamsters. Q：Yes, and what else did you get? I like what? A：Dogs. Q：Why? A：Because they're smarter than cats and hamsters. Q：That's right. I think that dogs are the smartest of all pet animals.</p>	<p>・前時の学習内容を想起させ、本時の学習事項へつなげる話題を選ぶ。</p> <p>・どのような場面（使用場面）で、何を伝えるために（意味内容・言語機能）どんな表現（言語形式）を使うのかをつかませて、学習課題を設定したい。</p>

	<p>Q : 今日, 皆に表現してもらいたいことはどんな事でしょうか?</p> <p>A : どれが好きかと, その理由。</p> <p>Q : Good job. So today's goal is...</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">好きなものの理由を工夫して伝えよう②</div>	
展	<p>3 パターンプラクティスに取り組む。</p> <p>Q : Now practice some.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PCで3つのものを提示しながら最上級を繰り返し使って練習する。音声として最上級をつかませ (インプット), 使わせる (インテイク)。
開	<p>4 自己表現活動に取り組む。</p> <p>Q : OK, then. What is your idea? What do you like?</p> <p>Talk with your partner.</p>	<p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p>形容詞の比較表現(最上級)を用いて, 自分の考えを伝えようとしている。(観察・発言)</p>
30分	<p>5 発表する。</p> <p>6 比較表現(最上級)の文法的説明を聞く。[まとめ]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比較表現の形やポイントについて整理し, 本時の学習をまとめる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>Dogs are smarter than cats.</p> <p>Dogs are smarter than hamsters.</p> <p>I think dogs are the smartest of all pet animals.</p> <p>So I like dogs.</p> </div>	
終		
結	<p>7 パートナーとの会話を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習につなげるためにも, 音声だけの言語活動にとどまらず, 文字を介した言語活動も確保する。 【表現の能力】比較表現を用いて, 自分の好きなものとその理由を表現することができる。(プリント)
10分	<p>8 自己評価カードを記入する。</p> <p>9 本日の宿題, 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価, 宿題の提示によって次時につながるよう意欲を高める。

(4) 板書計画

学習課題

つかみ

好きなものの理由を工夫して伝えよう②

まとめ

使い

Dogs are **smarter than** cats.
Dogs are **smarter than** hamsters.
I think dogs are **the smartest of** all pet animals.
So I like dogs.

つなげる

表現活動

- Speech
- Writing

今日の宿題

10/5
プリント1枚